

第7回 にぎわい創出検討部会

令和4年6月23日(木) 16:00～

ボスティビルド3階研修室

出席者 部会長+部会委員12名

今回のWSの目的は？

今までのWSで話し合った「居心地が良く歩きたくなる」まちを実現するために、どのような歩道床のデザインや歩道床に設置するものが必要であるだろうか。

第7回となる本会では、3か所(ヒストリア前+新庁舎前+旧井筒屋前)の模型を用いて実際の空間スケールを把握しながら、歩道のデザインイメージの検討を行うことを目的とする。

今回のWSの議題

公園的歩行空間の箇所毎の利活用方針を踏まえ、
路面の仕上げ及び設置するものを考える

01 箇所毎の利活用方針を踏まえ、路面の仕上げを考える

床材の模様紙を用い、切って貼りながら、公園的歩行空間の設えの検討を行う。

街歩きを把握した植栽等の保存すべきもの・変わらないもの（共同溝等）を意識しながら検討を行う。

02 設置するものを考える

床の上に設置するもの（テーブル椅子・キッチンカー・コンテナ（小屋）・仮設物・植樹等）をどのように配置するか、常設なのか・仮設なのかを検討する。

沿道の用途（現況 + 今後の変わることを想定）や人の動線を踏まえて検討を行う。



第5回WS・第6回街歩きのおさらい

5/26 第5回WS

1班【会社員のための空間に】

現在、お昼時や夕方に散歩をする人が多い。高齢者の利用が多いと予想されるが、実際に誰が利用しているのか調査したい。新庁舎前なので、会社員のためのワークスペースが必要である。

2班【飲食空間として活発なエリア】

食のエリアだけではなく、文化・芸術の表現ができる場やランチタイム時に気軽に健康相談ができる「まちの保健所」となる空間。ランチタイムにキッチンカーの出店をしていくと良い。

3班【ビジネス層に向けたワーキングゾーン】

市役所に来る人は子供をおいて来る人や、仕事のために来る人が多い。打ち合わせのためのカフェやテラスがあると良いのではないかと。市が主導で設備が整ったコンテナを用意し、そこでチャレンジジョブのようなものができるのも良い。

4班【人が集まりやすい空間】

会社員のための昼食を販売するキッチンカーや利用しやすいトイレが新庁舎前の広場にあれば、人が集まりやすく、イベントの際も便利である。

6/9 第6回まちあるき

第6回ステージイベントできる場所 / 新庁舎の広場と合わせ一番広大なスペース

未来ステージ=常設ステージ / 毎週日曜日 市民ののど自慢大会

3on3のバスケット等スポーツ / まち歩きの起点

木は涼しい木陰となる



エリア1の話し合いの様子

今回の検討

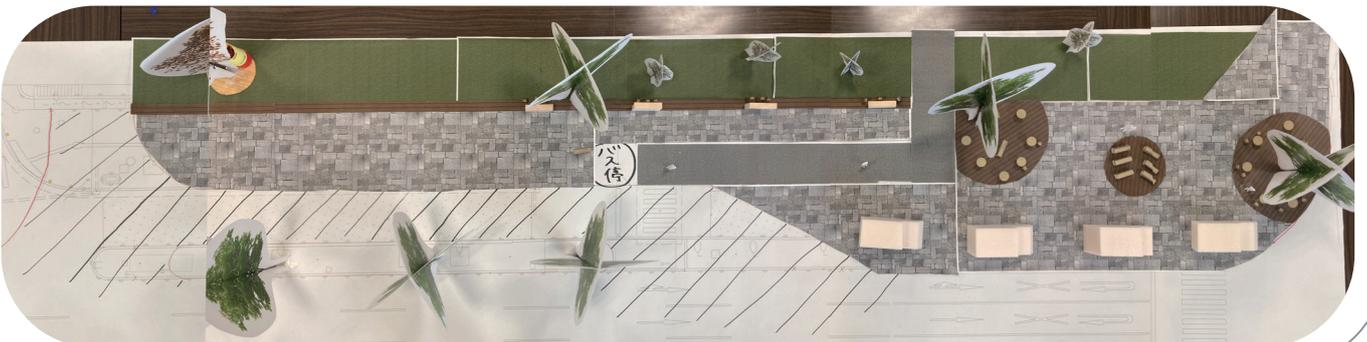
まず、新しくなる市役所前の芝生とバス停の位置から、キッチンカーがどのように出入りをし、どこに止められるかを考えた。

そして、そのキッチンカーを利用する人や市役所の職員がくつろげる空間を目指した。

今後想定される芝生公園との相性を考慮して、有機的でランダムなくつろぎ空間の配置が良いと考え、円形のデッキを大小ランダムに敷き、上にベンチやテーブルを配置した。

くつろぎやすくするため、デッキそばにシンボルツリーを含む植栽を植えて、適度な影を作る。

バス停を利用する人や市役所職員の動線を意識して、設計した。



第5回WS・第6回街歩きのおさらい

5/26 第5回WS

1 班【建物を目立たせたい】

現在の様子として、カフェや花畑がある。トイレも整備されてある。現在あるものをいかし、高い木は植えず、バラなどの草花を植え、光をいれて、建物を目立たせたい。

2 班【新庁舎前とヒストリア前で合わせたコンセプト「ウォークブル起点」】

主に音楽の演奏ができるような屋外ステージができ、真締川側からのアプローチから流れが生まれるようなイメージ。常盤通りに面する、山銀の駐車場は現在もイベント時に広場として利用可能であるため、活用には現実的である。

3 班【歴史を学ぶ・まちのワークスペース】

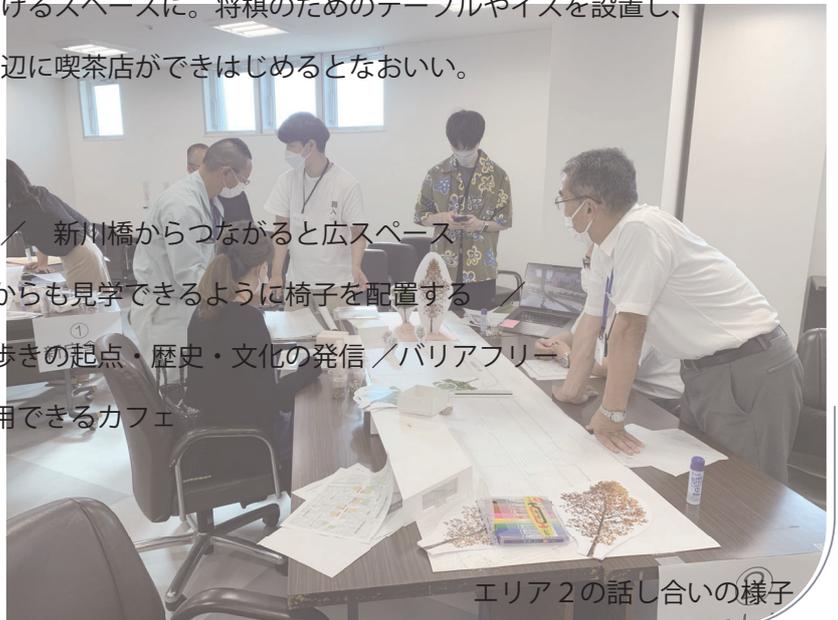
ヒストリア宇部や周辺の橋のあたりのパンプキン爆弾跡など歴史的な要素が多い。そういった歴史を学ぶことができるスペースに。ヒストリア宇部の内部と併せて大学生のフリースペースやまちの誰もが気軽に工作をやりに来ることができるスペースに。

4 班【美術芸術をテーマに大人の空間】

高齢者が将棋をする場所やフラットと絵が描けるスペースに。将棋のためのテーブルやイスを設置し、高齢者がゆっくり過ごせる場所に。その周辺に喫茶店ができはじめるとなおい。

6/9 第6回まちあるき

戦前からの歴史ある建物(宇部の象徴) / 新川橋からつながると広スペース
ヒストリアホールでのコンサート等を外からも見学できるように椅子を配置する
真締川公園をうまく利用する / まち歩きの起点・歴史・文化の発信 / バリアフリー
ヒストリアの利用者やバス待ちの人が利用できるカフェ



エリア2の話し合いの様子

今回の検討

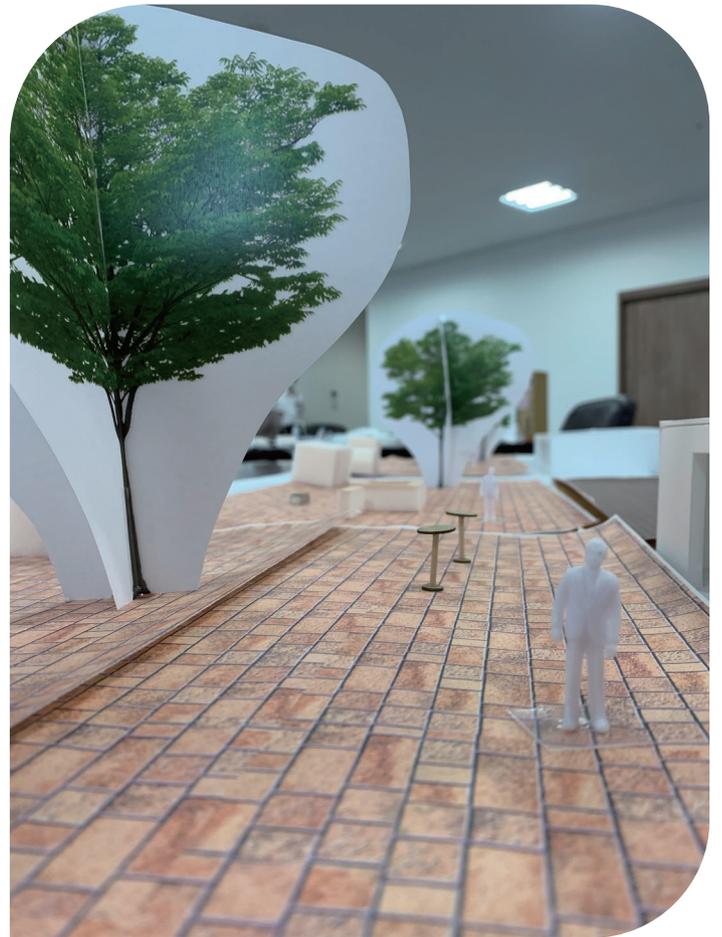
歴史や文化といったコンセプトをもとにして、ヒストリア宇部の雰囲気にも合うようなタイルや芝を選んで配置した。対面する市役所との見栄えも考慮して桃色レンガも使用した。

ヒストリア宇部のトイレが綺麗であることから、滞留空間としてのポテンシャルがある。また、新庁舎が子供や親子連れが訪れる賑やかな空間であるのに対し、ここは静かな滞留空間が適当だと考えた。

道路側がデッドスペースになる可能性があるためキッチンカーを置いて接続性を持たせた。

ケヤキは歩きやすい木陰を作り、歩行空間の質を向上させる。

木の間隔をとり、木々がケンカしないよう注意を払った。



第5回WS・第6回街歩きのおさらい

5/26 第5回WS

1班【ウォーカブル区域の中心】

ウォーカブル区域の中心になるので、屋内にウォーカブル管理事務所を設けたい。跡地にどんな機能が入るかで大きく変わってくる。また、授乳室が新庁舎しかないので、授乳室も設けたい。

2班【常盤通りへの目的地となる場所】

今後の旧井筒屋跡地の民間の介入によって変化するので難しいが、現状の課題としてストリートスポーツが自由にできる場がないため、若者が集まるような空間になってもいいのでは。加えて、都会的な空間を目指したマルシェなど、こだわりのある食品を販売する店舗を出店させるのがいいのでは。

3班【メインイベントの中心になるゾーン】

範囲が広く中心的な位置にあることからメインのイベントをするときには中心になる場所になるだろう。日常では旧井筒屋跡地に芝生ができるのであればゆったりできるソファを置き、くつろぐことができるようなスペースに。

4班【キッズエリア】

旧井筒屋の用途によって変わってくるが、安全なキッズのエリアになりそう。周辺の空間と一体的に広いエリアで子供が遊べる空間を考えていきたい。家にないおもちゃがあるといい。

5班【外貨を産む場所】

企業誘致をするのはどうか。旧井筒屋の使い方は非常に重要である。商業的なスペースがいいのではないか。

6/9 第6回まちあるき

子育て・飲食・多世代交流スペースとして外に向けてテラスを建物内外がつながるイメージ
快適に飲食できるスペースの確保+ワゴン車の停留スペース
中央に位置するサービスインフォメーション(管理事務所・大型モニターで予定便利)
核となる場所 / デザインも大切、本当のニーズに合ったもの
マーケット的・自主マルシェ・県内外からの来客



エリア3の話し合いの様子

今回の検討

常盤通りの中心となる場所をつくることを目標に、歩道空間だけではなく、旧井筒屋跡地に建てられる建物内部とどのようにリンクさせるかを考えた。その上で、日常時とイベント時で使い分けられる空間を目指した。

旧井筒屋跡地に建てる建物をセットバックし、イベントとなるステージを設け、日常時では飲食スペースとして利用する。デッキは油などをこぼしても長く使っていくことのできる素材や色のものを使用する。利用者が自分の好きな場所を選ぶ楽しさや自分の範囲を作って落ち着いて食事ができるようにするために、大きさの異なる円形の芝生を配置し、その上にテーブルを設置した。

また、広い芝生でレジャーシートを貸出し、より公園に近づけた飲食のスペースを設けた。

倉庫を設けて、テーブルやイスを出し入れできるようにし、有料の貸出しや管理をすることで収益を上げるようにする。





国内・海外で行われたストリートデザイン事例

01 Rua XV de Novembro (通称・花通り) @ブラジル 02 屋外で音楽が楽しめる！ @メキシコ

1972年に歩行者専用道路化された「11月15日通り：Rua XV de Novembro」(通称・花通り)、通り周辺には面的にスローゾーン(自動車が速度を落とす交通静穏化区域)が設けられている上、公園と広場のハイブリッドのような'Praça'がいくつか分布しており、それらを結節点として周辺のストリートが互いに結ばれている。



△ 参考 URL



週末、'Praça'周辺には遊び場が

木々に囲われたコンパクトな空間は、まさに公園の中の公園。カラフルなベンチがいくつか置かれ、それを囲うように屋外用スピーカーが何台か設置されています。このスピーカーから、丁寧にキュレーションされた音楽が常に流されており、良い音響で市民が気軽に音楽を楽しめるスペースになっている。



△ 参考 URL



03 パブリックスペース×ペイント@ポートランド 04 白いテープの内側で魅せるまちの表情

毎年6月頃に開催される交差点をペイントするパーティ。ペイントデザインで出したみんなのアイデアが1つになり、この交差点のデザインに反映されているのが嬉しい」という声を聞くことができ、考えやアイデアを共有し、形にすることが、場所や地域の愛着にもつながっている。



△ 参考 URL



「白いテープの内側」という実験のスペースをまちにつくり、休憩・団欒スペース、商店の溢れ出しなどを柔軟に魅せ方を変えながら道路空間・生活空間を変えていることに魅力を感じる。



△ 参考 URL



05 ポップアップパーク@シドニー 00

地元企業グループが立ち上がり、期間限定のポップアップパークを展開している。こういった社会実験で忘れがちなのは適切なサインです。このポップアップカフェは何なのか？

WEBサイトを見ればすぐにわかる。wifiがあることで、アクセスしやすい環境をつくっている。



△ 参考 URL



関連する事例等あればここで共有します